

流動性火山灰を用いた浸炭焼入れ鋼の表面仕上げ法

○有吉貴教・中西 勉・鄧 鋼 （宮崎大）

本研究では、高強度歯車に用いられる浸炭焼入れ鋼を対象として、表面の凸部を滑らかにし、かつ、経済性と自然環境を考慮した加工法を開発する目的で、流動性火山灰を用いた表面仕上げ法を検討した。その結果、火山灰は、砥粒加工で用いられるシリカやアルミナを多く含むこと、火山灰は、鉱油に混ぜことで適切な流動性を持つこと、流動性火山灰を用いた表面仕上げ法は、浸炭焼入れ鋼の表面を簡便に滑らかにできることがわかった。